

病害虫発生予察情報

4月月報

平成 21 年 5 月 18 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況

2009 年 4 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本 年	平 年 比 (%)	本 年	平 年 比 (%)
	本 年	平 年 差	本 年	平 年 差	本 年	平 年 差				
上 旬	19.6	3.6	6.9	0.1	13.3	1.8	11	26	85.9	161
中 旬	22.0	4.2	11.7	3.4	16.2	3.1	35	76	64.6	119
下 旬	20.0	-0.4	9.6	-0.9	14.7	-0.7	102	290	74.2	122
平均	20.5	2.4	9.4	0.9	14.7	1.4				
合計							147	120	224.7	134

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979~2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上・中旬は高く、下旬は低かった。

降 水 量：上旬は少なく、中旬は平年並みで、下旬は多かった。

日照時間：月を通じて多かった。

<天候概況>

上旬：1日から6日まではおおむね晴れたが、1日から2日は寒気を伴った低気圧の影響により雷雨となった。

中旬：高気圧と低気圧低気圧が交互に通過したため、天気は数日の周期で変化した。

下旬：高気圧と低気圧低気圧が交互に通過したため、天気は短い周期で変化した。特に25日は発達した低気圧の影響で大雨となった。

2 作物生育概況

(1)野 菜 類

果菜類・豆類：全体として半促成トマトの生育は順調であるが、一部の地域で4月上旬に高温障害がみられた。トンネル早熟栽培の果菜類は定植期であるが順調に生育している。促成イチゴは収穫後半を迎えたが、概ね順調である。露地のスイートコーンは概ね順調である。エダマメは概ね順調であるが、一部で乾燥の影響によりやや生育が遅れている。

葉根菜類：キャベツは気温が高めに経過したため生育が進んでいる。施設のコマツナは全体として生育は早まっている。露地のホウレンソウは乾きの影響で一部の地域で生育がやや遅れている。ダイコンは概ね順調に生育している。

いも類：ジャガイモの生育は概ね順調であるが、一部の地域で4月28日の遅霜により被害がみられた。

(2) 果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土)におけるナシ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通り。開花始・盛ともに早まり、開花盛は平年より2～5日早まった。

新高:開花始4月6日(±0日)、開花盛4月9日(-2日)

幸水:開花始4月9日(-4日)、開花盛4月13日(-4日)

豊水:開花始4月9日(-2日)、開花盛4月10日(-5日)

稲城:開花始4月6日(-1日)、開花盛4月9日(-3日)

(3) 茶樹

気温が平年並みからやや高めに推移したため、萌芽黄は3～4日早く生育は順調であった。4月28日未明、降霜があり(午前4時50分に農総研青梅庁舎で気温2℃を計測)、チャに大きな被害が生じた。防霜ファン設置茶園では一部で被害が見られた程度であったが、未設置茶園では、ほぼ全面に被害が出ており、茶栽培農家にとっては大きな痛手となった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネ・ムギの病害虫

特記事項なし

(2) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかったが、一部の園ではやや多かった。
ハマキムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ウメ

アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
カイガラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

カキ

カキクダアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。
-----------	-------	-----------

果樹共通

チャバネアオカメムシ < 発生時期: やや早 発生量: やや多 >

昨年のスギ・ヒノキ球果量はやや多いと推定されることから、越冬成虫の密度はやや高いと思われる。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
---------	---------	-------------

(4) 野菜の病害虫

トマト(施設)

モザイク病	< 並 >	発生は平年並であった。
灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< 並 >	促成長期は多発、半促成は少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
キュウリ(育苗)		
タネバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ワタアブラムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナス(育苗)		
ナミハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
ワタアブラムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
コマツナ(施設)		
コナガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ(露地)		
白さび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
コナガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ホウレンソウ		
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
イチゴ(施設)		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
野菜共通の病害虫		
トビムシ類	< 並 >	発生は平年並であったが一部地域のカブ、ホウレンソウなどで発生はやや多かった。
クローバーハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
(5)花きの病害虫(施設)		
キク		
ナモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ガーベラ・ペチュニア・マリーゴールド・ダリア		
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

花き共通の病虫害

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ミカンキイロアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 植木の病虫害

ケヤキでケヤキヒゲマダラアブラムシの発生が極めて少なかった。

(7) 島しょの病虫害

大島：アシタバでフキバッタ（泉津地区）、ブーバルジアでコナジラミ類の発生が多かった。

八丈島：野菜類および切り葉類でクワゴマダラヒトリの発生が多かった。野菜類でカタツムリ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病虫害は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	4月10日	5月11日	0	0
大田市場	4月10日	5月11日	0	0
板橋市場	4月10日	5月11日	0	0
淀橋市場	4月10日	5月11日	0	0
足立青果市場	4月10日	5月11日	0	0
小平青果市場	4月8日	5月8日	0	0
八王子北野市場	4月8日	5月8日	0	0
昭島市場	4月8日	5月8日	0	0
国立市場	4月8日	5月8日	0	0
東久留米市場	4月8日	5月8日	0	0

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnn.ne.jp/tokyo>

病虫害の発生予察情報、発生状況、防除方法
などをお知らせしています。